

■5月17日

スターフライヤー、11号機、シート刷新、IFEリニューアルを計画

スターフライヤーは今年9月に導入する同社11号機から新シートに刷新して、サービス強化を図る。

Wingdailyによると、新シートについて、その全容は未だ明らかにはされていないが、シートの刷新にあわせて機内エンターテインメント・システムそのもののリニューアルに踏み切ることを考えている模様。

ビデオ・オン・デマンド対応やパーソナル・モニターを使って新聞・雑誌等も読むことができるようにするなどの検討が進められている。

(wingdaily) 5/16

スターフライヤー、釜山線利用韓国人旅行者、6割女性、9割観光目的

北九州エアターミナルは15日、北九州-韓国・釜山線を利用した韓国人旅行者へのアンケート結果を発表した。小倉城や門司港レトロなどへの観光目的が9割を占め、旅行者の6割が女性だった。

旅行目的を観光と回答した人では、20～50代の女性が5割強を占めた。7割が「価格の安さ」や「訪問地が魅力的」を理由に挙げた。

回答者の8割は北九州への訪問は初めて。滞在日程は2泊3日が多く、別府・湯布院や福岡市内まで足を延ばした人もいた。

同アンケートは、北九州空港ターミナルビルを運営する北九州エアターミナルが、利用実態を調べるため今年1～3月の平日、帰国前の旅行者に聞き取り調査し、474人から回答を得た。

(毎日新聞) 5/16

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20130516ddlk40040422000c.html> (->

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20130516ddlk40040422000c.html>)

スカイマーク、4月、旅客輸送実績、平均利用率65.1%

スカイマークはこのほど、4月の旅客輸送実績を発表した。これによると、提供座席は前年同月比5.2%減少、合計搭乗者数も同5.1%減少の49万0,856人だった。平均利用率は65.1%と前年同月と比べて、0.7ポイント低下した。

4月20日から新規就航した仙台—札幌線の搭乗率は42.7%、福岡線の搭乗率は55.8%だった。

* LCCと競合する路線の搭乗率については以下の通り

路線	11月	12月	2013年1月	2月	3月	4月
成田—札幌	46.2%	38.3%	36.6%	46.9%	51.3%	28.6%
成田—福岡	67.0%	61.3%	53.1%	55.1%	76.8%	47.1%
成田—沖縄	56.6%	47.7%	51.9%	78.9%	90.4%	57.9%

(日刊航空) 5/17

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(スカイマーク HP)

http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html (-> http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html)

大韓航空、4月、国際線利用者が減少

(中央日報によると)

仁川空港公社の15日発表によれば、4月の大韓航空の国際線搭乗者数は106万8553人で昨年4月より4.6%(5万1783人)減少した。大韓航空の国際線搭乗者数が減少傾向に転換したのは2011年5月以来23カ月ぶりだ。搭乗者数自体も2011年11月の106万7631人以降最も少ない数だ。

航空業界では、北朝鮮の核危機と円安効果にともなう海外搭乗者数の減少が最も大きな原因であると指摘されている。

る。実際、4月の仁川空港の日本路線搭乗客数は49万3900人で昨年4月より9.4%減った。韓国観光公社などによれば今年第1四半期の日本人観客数も71万2527人で前年同期比で20.8%も減少した。

(中央日報)5/16

<http://japanese.joins.com/article/656/171656.html?servcode=300§code=300> (->

<http://japanese.joins.com/article/656/171656.html?servcode=300§code=300>)